

# 笑顔は安心の バロメーター



子どもも親も  
笑顔でいられるように

## 市内の児童館・こども館

### 開館時間

#### 【児童が使用する場合】

- 月曜日から金曜日  
午前10時～午後6時
- 土曜日、夏休み・冬休みなどの  
学校長期休業日  
午前8時30分～午後6時

#### 【地域活動などで使用する場合】

午前10時～午後9時（児童が  
利用していない時間に限る。使  
用料がかかります）

休館日 日曜日、祝日、年末年始

児童館	住所	電話番号
日の出児童館	日の出9	24局 1220
鉄北児童館	北2西5	24局 3884
春日児童館	総合公園 41	24局 6394
美園児童館	美園 5-7	24局 5087
志文児童館	志文町 205	25局 2868
幌向児童館	幌向北 1-2	26局 3775
利根別児童館	5東 13	23局 5473
東・栄児童館	栄町 1	24局 6712
稲穂児童館	7西 22	23局 5458
上幌向児童館	上幌向北 1-4	26局 1975
中央児童館	5東 2	22局 2452
北真児童館	稔町 35	23局 2281
来夢 21 こども館	栗沢町南本町 41	45局 2105

## 児童見守りシステム

希望者に、ICタグ、という小型の端末機を配布し、ランドセルなどに取り付けておき、子どもたちが小学校・児童館の玄関を通ったときに、設置してあるセンサーが感知し、あらかじめ登録してある保護者のメールアドレスに登下校の情報をメールするシステム

日本における児童館の  
ルーツは、明治末期にま  
でさかのぼるそうです！



平成30年度からは、放課  
後児童クラブが小学6年生  
まで利用できるようになり  
ますよ！



「たかな？」という心配を解  
消してくれます。

## 働く保護者を支援

学校から帰っても、仕事などで保護者が家にいない。そんな小学1年から3年生までの子どもたちも、児童館と小学校の余裕教室などで、午後7時まで開設しています。利用するには登録が必要ですが、登録している子どもは、学校からまっすぐクラブに行くことができます。土曜日や夏休み、冬休みなどの学校長期休業日には、お弁当を持って行くこともできます。午後6時までの利用は無料ですが、午後6時から7時までは、月額2千500円の利用料がかかります。



市職員が出演して説明します  
7月7日(金) 午後5時40分

子ども・子育て支援。どうしても、未就学児対象というイメージが強いのではないのでしょうか。

入学後は、学校でと思いがちですが、小学校入学後も、市はさまざまな子ども・子育て支援を行っています。

どんな取り組みがあるのか気になりますか？今月号は、小学校入学後の子ども・子育て支援にスポットを当てました。

問合せ先 市教委子ども課子育て支援係(4西3 であえーる岩見沢内)  
☎ 35局 5133

## 遊びを支援

小学生が、放課後や夏休み、冬休みなどに自由に遊べる施設と言え、何を思い浮かべますか？皆さんも、小学生の時に遊んだことがあるのではないのでしょうか。小学生が遊べる施設と言え、児童館です。児童館は、市内に12カ所、栗沢の来夢21こども館を合わせて13カ所あります。毎日、たくさんの子どもの元気が過ぎっています。児童館は、学校と家庭の間にある子どもたちの生活の場です。ぬりえや竹馬、一輪車、折り紙などで、学年をこえて一緒に遊びます。季節ごとの行事や、スポーツレク交流会、冬季レクリエーションといった、他の児童館との交流もあります。

子どもたちは遊びを通して考え、行動し、責任を持つという自主性・社会性・創造性を身に付けます。また、授業のある時間帯や夜など、子どもたちが使わない時は、親子ひろばや地域のサークル活動でも使われています。

児童館は、誰でも使える施設です。小学校に入学する前、「入学後は大丈夫かな？」と心配になったときは、一度児童館に行ってみるのも良いかもしれませんね。

## 頼れる指導員

児童館、放課後児童クラブのことをもっと詳しく知るために、指導員の林美香さんに話を聞きました。

### 《児童館と放課後児童クラブ》

よく勘違いされるんですが、児童館は、高校生まで誰でも利用できるんです。放課後児童クラブは、登録している小学1年から3年生までの子どもです。児童館を利用する子どもも、放課後児童クラブを利用する子どもも、一緒に自由に遊んで過ごします。

毎日、80から90人くらいの子どもの来ます。その内、家に帰ってから遊びにくる子どもが10人くらいで、その子どもたちは午後5時ごろまで利用することができます。



指導員 林 美香さん

### 《指導員の仕事》

子どもたちと一緒に遊びますし、子どものけんかの仲裁もします。保護者からの相談を受けたりもしますね。館長と指導員の3人が、勤務時間を変えたり、休みを取ったりと、シフトを組んでいます。子どもたちがいる時間帯は3人体制ですね。あと、この児童館は子どもが多いので、ボランティアの方にも手伝ってもらっています。



子どもにとって、学校生活と家の間で、楽しく過ごせる場所だと思っています。学年を超えて一緒に遊べるというところも楽しいと思います。保護者にとっては、「働いている間が心配なんだけど、児童館にいると安心だ」と言っていたいています。

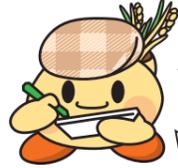
### 《けがなどの対応》

子ども同士で遊んでけがをしたり、けんかして思わず手が出てしまったということもあります。そういう時は、まず、その子どもの話を聞きます。その後で、自分がしたことを分かってもらって、相手に謝るといふことで解決しています。もし、相手にけがをさせてしまったら、どちらの保護者にも連絡していただきます。

ばんそうこうや湿布で対応できる軽いものは、こちらで手当てをしてお迎えに来た時に話をします。あと、児童館として保険に入っていますので、何かあった時でも安心だと思います。きちんとして子どもと向き合っていて、聞いてあげるといふことが大事だと思います。



林さんが子どもたちのことを「来る、ではなく「帰ってくる。」と言っていたことが印象的で、林さんの子どもたちへの想いを感じました



どうでしたか？  
もちろん、大変なこともあります。子どもたちと楽しく過ごして、子どもたちの成長を見守ることのできる、とてもやりがいのある仕事ではないでしょうか？

### 《やりがい》

楽しいことは、やっぱり子どもたちと遊んで、いろんな話をする事です。子どもたちは、普通に友達感覚で話していると思います。女の子だったら、好きな子の話とかもしますよ。「友達とうまくいってないから、どうしたらいい？」というような相談も受けられます。友達に近い感じなのかもしれません。私は、先生というよりは、お姉さんという感じで接しています。

この間、小学3年生まで利用していた子が、6年生になってから「久しぶり！」って遊びに来たんです。すごく身長が伸びていて、背比べをすると、成長を感じて驚きますし、嬉しいですよ。卒業した子どももその保護者とばったり会ったときに、「久しぶり」という感じで話をするのも楽しいですね。

### 利用者声

児童館、放課後児童クラブを利用して親にも話を聞きました。児童館と放課後児童クラブのことをどう思っているのでしょうか。



児童館を利用している  
あまねちゃん(小学3年生)とお母さん

### 《子どもにとっては?》



児童館では何が楽しいの？

体育館で遊ぶこと。ドッジボール、カタキ、一輪車、竹馬、紙飛行機、大根抜きとか

### カタキ

簡単に言うと、個人戦でボールを投げあうもので、AがBにボールを当てるとBはアウトになる。CがAにボールを当てるとAはアウトになり、Aに当てられてアウトになっていたBが復活する。最後に残った人が勝ちというゲーム

### 大根抜き

簡単に言うと、腕組みをして並んでいる人を別の人が抜いていき、最後に残った人が勝ちというゲーム



地域によっては、名前が違ったり、ルールが違ったりと、北海道ローカル、地域ローカルな遊びのようです



私はここが地元なんです。だから、昔からここに児童館があるのを知っていましたし、私もたまに遊びに来ました。子どもは、児童館のお祭りに何回か来ていたし、やっぱり家で



あまねちゃんは、児童館が楽しくて仕方ないといった様子で、お母さんは、林先生と楽しそうに話をしているという様子が伝わってきました  
児童館が、生活の一部になっていて、無くてはならない存在なんだと感じました

一日でいろんな遊びをするの？

30分ごとに変わるの。それでいろんな遊びをするの



一番好きな遊びは何？

一番好きなのは、カタキ。あまりキャッチはできないけど、逃げるのが楽しいの

一輪車に乗れるの？

うん。棒につかまらなくても乗れるよ。1年生の時は、乗れなくて諦めちゃったけど、3年生になって、もう一回やったら乗れるようになったの



友達はいっぱいできた？

うん。いっぱいできたよ。1年生と2年生の友達もいるけど、同じ学年の人と遊ぶことが多いかな



先生はどう？

怒ったら怖いけど、普段は優しいよ

### 《保護者にとっては?》

家に祖父母がいるんですけど、いないときもあるし、子ども一人だけというのは、やっぱり不安ですね。児童館は、先生が見守ってくれて、お友達と目いっぱい遊ぶのは、とてもありがたいです。汗だくになって遊ぶから、とにかく寝付きが良くて。あと、宿題をさせてくれていて助かります。家に帰ってから宿題をやるのが遅くなってしまうので。

一輪車なんかも、私は教えることができないですけど、館長さんが教えてくれて、確か1週間くらいで乗れるようになったんです。できるよになるって、嬉しいし楽しいですよ。竹馬も家にはないので、普段でできない遊びに触れることができるのはいいですね。

過ごすより、お友達と遊びたいという事で、児童館に来るのは何の抵抗もなかったですね。仲の良い友達も来ているので。一人で家に帰ってくるのも、今はいろいろと怖いじゃないですか。でも、児童館にはみんな来てくれるし、児童見守りシステムもあるので安心ですね。



# 相談で支援

入学後、子どもに関する相談は、担任教諭など学校が相談窓口の中心になります。でも、友達付き合いや学習の悩み、生活習慣の乱れなど、小学校、中学校と年齢が進むにつれて相談内容も複雑になり、時には、学校とは違ったアドバイスがほしいと思うことがあるかもしれません。そんな時は、**教育支援センター**に聞いてみてください。教育支援センターは、大学院教授や小児科医、社会福祉士、学校心理士、臨床心理士などが連携して、皆さんの相談にお応えします。

教育支援センターの長尾さんと伊藤さんに話を聞きました。



教育コーディネーター(学校心理士)  
長尾 幸男 さん

《どんな相談?》  
子どもや保護者、学校の先生といった教育にかかわっている全ての人を対象に、相談を受けています。一番多い相談は、発達障害、特別支援学級に関する事です。増えているのが家庭問題で、虐待や貧困、そこから起きる子どもへの問題行動など、福祉関係と連携する相談です。あとは、いじめや不登校に関する事です。

スクールソーシャルワーカー(社会福祉士)  
伊藤 忍 さん

《幅広く専門家と連携》  
教育だけじゃなく、家庭問題も含めて、幅広い知識が必要で、学校が単独で動く、なかなか関係機関と連携するのが難しいんですが、私たちが間に入ることによって、連携がスムーズに行えます。それぞれの専門の方だけだと、深く狭いかもしれないですが、それが集まると全体が見えるんです。

《まずは相談》  
相談は、電話やEメール、学校からの連絡、直接来ていただいても構いません。私たちがまず相談を受けて、内容によって関係機関と連絡調整します。これまでの相談件数



は、平成27年度で年間400件、平成28年度で年間800件なんです。今年、4月と5月で300件です。これは、教育支援センターが認知されてきたということと、それだけニーズがあるということだと思っています。

一番は、学校の先生が教育支援センターの使い方を分かってきたということです。先生からの相談も受けますが、先生から保護者に教育支援センターを紹介するという流れができてきたということ。件数は増えてきていますが、まだまだあると思っています。子どものことで困ったら、まずは、相談してほしいです。小さなアドバイスかもしれないですけど、子どもにとっては大きなことなんです。

# 見守りで支援

残念なことに、全国的に児童虐待のニュースが後を絶ちません。虐待は、子どもの人権を侵害するだけでなく、時にはその生命までも脅かすことがあります。虐待は子どもの心に深い傷となって残り、不信感や敵意、絶望感などが、その後の人生に大きな影響を与えることもあります。また、支援する手段があるのに「困っている」と相談することもできないまま、苦しんでいる家族もいます。

子どもの命を守り、家族を救うため、当事者からの相談がなくても、周りの大人が気付いて、支援するという方法があります。それが、**要保護児童対策地域協議会(チャイルド・ホットライン)**です。支援に必要な子どもやその家族に関する情報をもとに、いわみざわ子育て支援センターが中心となって、誰がどのように支援するのかを整理し、継続して見守っていきます。

隣の親子の様子がちよっとおかしい。毎日のように怒鳴り声や大きな物音、子どもの泣き声がするなど、

「もしかしたら虐待かな?」と思っ  
ていても、「もし違っていたら」「単なるおせっかいかも」といったことで足踏みをするかもしれません。

もしかしたら虐待かなと思う程度でも、市教委や児童相談所などに連絡してください。匿名で連絡することもできますし、通告者の情報は、相手に知られることはありません。

少しでも気になることがあったときは、いわみざわ子育て支援センターにお電話ください。

# 愛情で支援

《里親制度》を知っていますか?里親制度は、家庭での養育が困難または受けられなくなった子どもなどに、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境のもとでの養育を提供し、子どもの健全育成を図る有意義な制度です。

《里親II養子縁組》とイメージしがちですが、養子縁組を前提とする里親以外にも、一定期間、養育していただく「養育里親」があります。養育里親は、子どもが温もりあふれる家庭的な環境で暮らすことで、愛着関係の形成や子どもの健全な成長を育む大きな支えとなります。

里親になるためには特別な資格は必要ありません。子どもが大好きで明るく健康的な家庭であって、一定



岩見沢児童相談所(鳩が丘1)  
☎ 22局 1119

の研修を受けていただければ誰でもなることができます。もちろん、養育費として、生活費や教育費、医療費なども支給されますので、安心して受け入れることができます。詳しくは、岩見沢児童相談所にお問い合わせください。

## 要保護児童対策地域協議会

子どもやその家庭を取り巻く関係機関が、情報や考え方を共有し、役割分担しながら、共通の理解のもとで子どもと保護者を支援

### 児童福祉関係

- 市福祉課
- 地域子育て支援センター
- 児童館
- 保育園 など

### 保健医療関係

- 岩見沢保健センター
- 岩見沢保健所 など

### 警察・司法関係

- 岩見沢警察署
- 札幌法務局岩見沢支局 など

### 教育関係

- 市教委子ども課
- 市教委指導室
- 教育研究所
- 青少年センター など

### その他

- 岩見沢消防署 など

いわみざわ子育て支援センター(4西3 であえーる岩見沢内)  
☎ 22局 3337



教育支援センター(4西3 であえーる岩見沢内)  
☎ 35局 5161  
Eメール edushien@i-hamanasu.jp



い

## いろいろな経験を

ここまで紹介したものは、子どもや保護者の安心につながる支援でしたが、これから紹介するものは、子どもたちにさまざまな経験を積んでもらう支援です。子どもは、学校や地域で、たくさんの人と出会い、さまざまな経験をしながら、大きく成長していきます。市は、地域のみなさんと協力しながら、子どもたちにさまざまな体験の機会を提供しています。

### みんな集まれ！ 地域子ども会育成会連合会

市内各地域にある約100の地域子ども会や育成部をまとめているのが、地域子ども会育成会連合会。地域の子どもの会単独ではできない、野球大会やキャンプ、書初め大会、かるた大会、日本の伝統文化を体験する能楽講習会などを実施しています。学校も学年も違う友達と交流するチャンスです。地域子ども会育成会連合会の事業に参加してみませんか。

チームで参加する行事は、子ども会や団体にお知らせしています。個人で参加する事業は、子ども会のほか、小・中学校にもポスターなどでお知らせしますので、気軽にお申し込みください。



### 創造力を育てる 子ども発明工夫展

小・中学生に、モノづくりを通じて、創作の喜びや発明工夫の楽しさを知ってもらい、その創造力を育てることを目的に実施しているのが発明工夫展。毎年夏休みの自由研究の中から、選りすぐりの作品が学校から出品されています。あそびを楽しくするオモチャやアイデアいっぱいの生活用品など、子どもたちの自由な発想を見ることが出来ます。毎年工夫を凝らした作品を出品する常連メンバーも。受賞作品は北海道大会を経て、全国大会に出品されることもあります。夏休みの自由研究は、発明工夫展への出品を目指して頑張ってみるのも良いですね。毎年、9月に展示会を開催しています。

何かを作るのはちょっと苦手という子どもは、工作や実験などの教室もある、いわなびチャレンジスクールに参加してみるといいですよ。



### 考え、主張する力を 少年の主張大会

中学生が日常生活の中で体験し、考えたことなどを広く訴える、少年の主張大会。家族のこと、友人のこと、将来の目標、戦争や貧困といった社会問題について考えたことなど、その内容は実に多彩です。自分の考えをまとめるということ、それを広く聴衆に訴えるということは、中学生にとって大きな挑戦。今年は6月17日に開催されました。練習の成果を出し切った、すがすがしい表情が聴く人の心に残る、素晴らしい大会でした。

毎年、「発表作品集」を発行しています。興味がある方はお問い合わせください。



【いずれも】

問合せ先 市教委子ども課子育て支援係  
(4西3 であえーる岩見沢内)  
☎ 35局 5133

子どもたちの成長を温かく見守り、支援していくのは、保護者はもちろん、私たち大人の役目です。市はこれからも、子どもたちがいつまでも笑顔でいられるよう、小さなサインを見逃すことなくサポートし、子どもたちが心身ともに健やかに育つ環境づくりに取り組んでいきます。

子どもたちの笑顔は、岩見沢の未来を創り上げていく、岩見沢の宝なのです。